

平成18年11月22日

各 位

電子材料ガスの出荷価格改定について

この度、大陽日酸株式会社（社長：松枝 寛祐）では、半導体、液晶の製造プロセスに使用する「電子材料ガス（特殊材料ガス）」の一部の出荷価格を下記の通り改定することいたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 対象製品：モノシリラン（SiH₄）、ジクロロシリラン（SiH₂Cl₂）、アルシン（AsH₃）
ホスフィン（PH₃）、ジボラン（B₂H₆）

2. 改訂時期：平成18年12月出荷分より

3. 改訂幅：
①モノシリラン、ジクロロシリラン ⇒ 出荷価格の20%引上げ
②アルシン、ホスフィン、ジボラン ⇒ 出荷価格の10%引上げ

4. 改訂理由：

当社は、半導体・液晶の製造プロセスに使用する「電子材料ガス（特殊材料ガス）」と呼ばれる様々な材料ガスを製造・販売しております。

その内、モノシリラン、ジクロロシリランは成膜用として、アルシン、ホスフィン、ジボランはドーピング用や化合物半導体製造用として使われています。これらの原料となる各種の化学品については、一部は国内・海外の当社関係会社にて製造し、一部は化学メーカーから調達し、精製したのちに、単体の高純度品として、もしくは窒素・アルゴン・ヘリウム・水素等のベースガスと混合させた状態で充填・出荷しております。

このところ、半導体・液晶産業が好調に推移し、「電子材料ガス（特殊材料ガス）」の需要は世界規模で急拡大しており、今後は更に太陽電池の製造プロセス向けの需要増加が見込まれています。

一方、原料供給元である化学メーカー各社においては、長年にわたる需要家からの価格圧縮の動きに加え、石油製品や金属珪素等の原料高騰の煽りを受け、現在の事業環境下では生産設備の増強や更新の余力はなく、需要増に対応するためには製品価格引上げを以って臨むしかないとの判断から、相次いで出荷価格の改定を決定しています。

当社におきましても、昨今の出荷量の増加に対応して、安定供給に関わる輸送・貯蔵設備の拡充が急務となっております。「電子材料ガス（特殊材料ガス）」は可燃性や毒性を有しております、高圧ガス保安法では製造のみならず、輸送・貯蔵等においても厳しく安全基準が定められているため、この基準を満たす保安経費が増加しているほか、軽油など燃料費上昇も相俟って輸送費用も増加し負担となっております。また、鋼材の価格高騰により高圧ガス容器やバルブ類の調達価格も上昇しています。

このような状況の下、当社いたしましては各種原料の安定調達の観点から化学メーカーからの価格改定は受け入れざるを得ず、また、安定供給において不可欠な輸送・貯蔵に関する負担増も合わせてすべてを自助努力により吸収することは困難であることから、今般、一部の「電子材料ガス（特殊材料ガス）」の価格改定を決定いたしました。

以上

本件に関するお問い合わせ先

大陽日酸株式会社
東京都品川区小山1-3-26
経営企画・総務本部
広報部 高橋・田島
TEL: 03-5788-8015